

「団地の未来プロジェクト」 隈研吾氏、佐藤可士和氏監修による 洋光台北団地エリアリニューアル (集会所・屋外広場・住棟ファサードリニューアル)

独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)では、昭和45年に横浜市磯子区洋光台に誕生したUR賃貸住宅「洋光台北団地」において、継続的に団地の価値を上げる取り組みのモデルケースとして、建築家の隈研吾氏くまけんごとクリエイティブディレクターの佐藤可士和氏さとうかしわによる監修のもと、「団地の未来プロジェクト」(<http://danchinomirai.com/>)(以下、本プロジェクト)(別添参照)を進めております。

この度、洋光台北団地エリアの新たな拠点として、「団地の集会所 OPEN RING」や集会所に隣接する屋外広場・住棟ファサードの大規模リニューアル(一部建替え、一部改修)が行われましたので、お知らせ致します。

1. 「団地の集会所 OPEN RING」

これまでの集会所がサンクンガーデン(階段で囲まれた広場)やその奥に新たに誕生した芝生広場と一体となった「団地の集会所 OPEN RING」として団地・地域の方に親しみやすい場所として生まれ変わりました。集会所には、新たにコミュニティカフェ等が併設されました。併設したコミュニティカフェ「団地のカフェ」(“よっしーのお芋やさん”)には「団地のライブラリー」等が設置されています。この「団地の集会所 OPEN RING」は、建築アイデアコンペの最優秀案(当選者:NAAWながのけんたろう 長野憲太郎氏、おうすいくん 王翠君氏)をベースに、隈研吾氏(プロジェクトのディレクターアーキテクト)、佐藤可士和氏(プロジェクトディレクター)のディレクションにより具現化されました。

2. 「屋外広場・住棟ファサード」

集会所に隣接する屋外広場と住棟ファサードのトータルリニューアルを実施しました。その結果、広場の柵や段差をなくし、芝生を敷くことにより、高度成長期時代の「団地」のイメージを刷新して、誰もが使いやすいオープンで気持ちの良い屋外空間に生まれ変わりました。また、白く再塗装された住棟ファサードには、暖かな木目のデザインが施され、広場に設置されたロゴマークのパーツをかたどった木製の家具を配置する等により緑と調和するアクセントになっています。これは、佐藤可士和氏初の試みとなる団地全体のデザイン監修の一環として実施したものです。



団地の集会所 OPEN RING



屋外広場・住棟ファサード

【お問い合わせ先】

●UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

神奈川エリア経営部 ストック活用計画課 (電話)045-682-1892

総務部 総務課 (広報担当)

(電話)03-5323-2555



完成披露ムービー



団地のカフェ（団地の集会所 OPEN RING 内施設）



団地のライブラリー（団地のカフェ内に設置）

<今後の展開>

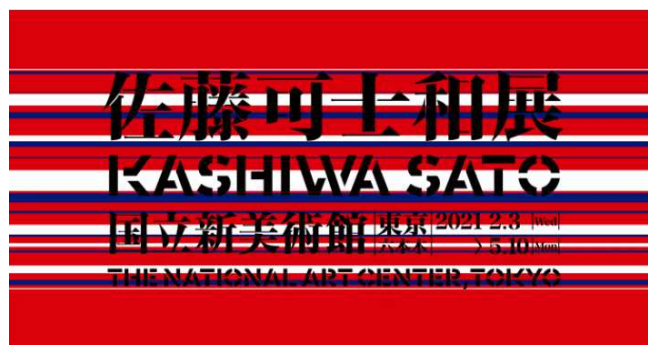
■令和3年1月下旬 新築棟の入居者募集開始

洋光台北団地1-11号棟は新築棟に建替えを実施しています。令和3年1月下旬より入居者募集を開始する予定です。この住棟には、洋光台北団地にお住まいの方がご利用いただけるコミュニティラウンジが併設される予定です。

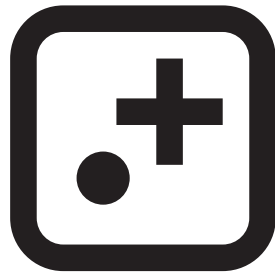



■佐藤可士和展開催

令和3年2月3日～令和3年5月10日に国立新美術館にて本プロジェクトのプロジェクトディレクター佐藤可士和氏の展覧会「佐藤可士和展」が開催されます。本プロジェクトに関しても展示が予定されています。



平成30年に実施した洋光台中央広場改修に続き、北団地エリアのリニューアルにより、団地を核とした洋光台エリア全体の活性化をさらに進め、様々なワークショップや広場を活用したイベントなど、団地や地域のお住まいの皆様のコミュニティ拠点として「新しい住まい方」の発信を行ってまいります。



 団地の未来

The Future of Housing Complex Project
danchinomirai.com

団地の未来プロジェクト
洋光台北団地エリアリニューアル

集会所・屋外広場・住棟ファサード改修

UR都市機構では、神奈川県横浜市磯子区の「洋光台団地」をモデルケースとして、継続的に団地の価値を上げていくことで、より良い社会づくりに貢献していく「団地の未来プロジェクト」を、平成27年3月より進めております。

本プロジェクトは、建築家の隈研吾氏を、新しいライフスタイルに適した建築・空間設計を創造する「ディレクターアーキテクト」として、また、クリエイティブディレクターの佐藤可士和氏を、人が集まって住む団地だからこそできる新しい住まい方と地域のあり方を提示していく「プロジェクトディレクター」として迎え入れ、スタートしました。

これまで各界の方々との意見交換を行い、多角的な視点からアイデアを議論し、建物のリニューアルプロジェクトをはじめ、防災の新しいカタチの提案から地域の方々にも参加していただいたフィルムコミッションまで、様々な取り組みを並行して進めてまいりました。2018年には隈研吾氏デザイン監修による洋光台中央の広場リニューアルが完成し、新しく生まれた2階デッキ部分には工芸作家の方々のショップが集積するクラフトマルシェゾーンがオープンすると共に、広場では地域の皆様が主催する毎年恒例の「ハロウィンイベント」(*)に加え、2018年からは新たにハンドメイドの雑貨・アクセサリ等を手掛けるクリエイターが全国から集う「団地のマルシェ 洋光台クラフトマルシェ祭」(*)など様々なイベントが開催され、地域内外から多くの方に足を運んでいただいております。
(※2020年度はコロナの影響により中止)

この度、本プロジェクトのアイコンとなる新たな拠点として、プロジェクト立ち上げ当初に実施した洋光台北団地集会所の建築アイデアコンペにおける最優秀案(当選者:NAAW長野憲太郎氏、王翠君氏)をベースに、隈研吾氏、佐藤可士和氏によるディレクションのもと実施案を策定したリニューアル工事により、「団地の集会所 OPEN RING」が完成いたしました。

あわせて、洋光台中央広場のトーン&マナーを継承して佐藤可士和氏がデザイン監修を行った、洋光台北団地集会所に隣接する、広場と住棟ファサードのリニューアル工事も完成し、洋光台地区の北エリアに新たな拠点が誕生しました。

集会所に併設した「団地のカフェ」には、団地の豊かな屋外空間の中で本に親しんでいただくための「団地のライブラリー」を設置するほか、様々なワークショップや広場を活用したイベントなどを予定しており、団地や地域にお住まいの皆様のコミュニティ拠点として「新しい住まい方」の発信を行っていく予定です。

来年春には高層住棟の建替えも完成を予定するなど、いよいよ本プロジェクトの拡がりが見える形になってまいりました。これからも多くの皆様のご支援を賜りながら、地域の皆様とともに進めてまいります。どうぞご期待ください。

独立行政法人 都市再生機構
東日本賃貸住宅本部
本部長 田島満信



本来であれば現地にて皆様とともに、集会所、広場の完成を記念しセレモニーを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の為、お披露目のムービーをセレモニーに代えて制作いたしました。あわせてご覧ください。





改修コンセプト（団地の集会所 OPEN RING デザインアーキテクト NAAW）

北団地の屋外空間の良さを活かすために、建物と地形の関係性を高めることを考えました。サンクンガーデンをより広く階段状に改修し、軒下空間と関係づけることによって、既存建物・周辺環境を含め全体として「集まり」を感じる空間をつくりました。新築、改修、既存部分を共存させることで、文脈と馴染んだ様々な居場所や交流の場所を創出しました。また、軒下空間が通り側にも面することで、北団地の玄関口として人々を迎えられるように考えました。

